

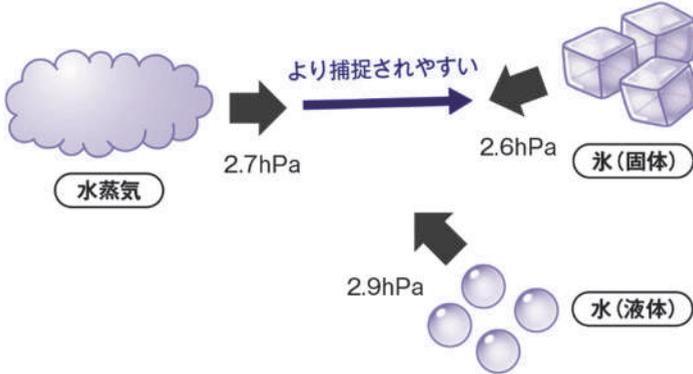
7 雲粒（雨粒）と氷晶の成長スピードの違い

雲粒（雨粒）と氷晶では、**氷晶**の方が粒子の成長速度が速くなります。理由は、「飽和水蒸気圧」の違いからです。

「水に対する飽和水蒸気圧」 > 「氷に対する飽和水蒸気圧」であるため、氷粒子は水滴よりも早く過飽和に達し、成長します。

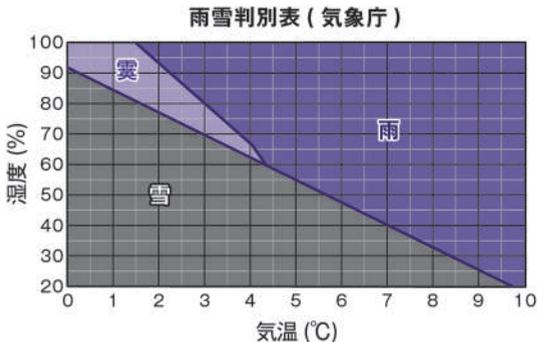
※ 気温が-10℃のときの飽和水蒸気圧

氷：2.6hPa、水：2.9hPa、水蒸気：2.7hPa



8 雨と雪の境目

降水粒子が冷たい雲から落ちてくると仮定した時、地上で雨・雪どちらになるかは、気温と湿度によってほぼ決まります。気温が同じ場合、大気が湿っているほど雨になりやすく、乾いているほど雪になりやすくなります。



左図は、気象庁が公表している「雨雪判別表」です。予報の現場でもよく使います。